

◆義務教育学校整備基本構想・基本計画 パブリックコメント(意見者…5人、意見数 12 件)

	意見者	意見	回答
1	A	【整備方針4】安心・安全について① 部活動のことも考えると、地域の方も利用できるようにすることはいいと思います。 反面、不審者対策も必要です。授業時間中は音楽室や家庭科室などを児童生徒が利用するので、外部の人が入れないようにすることや玄関のオートロックが大事です。 また、児童生徒が道路を横断して登下校することになるので、①陸橋(後述にも関連しますが)②横断歩道と押しボタン式信号 のいずれかが必要です。さらに、緑ヶ丘公園と反対側に歩道の整備も必要です。	ご意見のとおり、学校施設の地域開放はセキュリティの確保とセットで考える必要があります。 不審者対策に関しては、出入口等への顔認証システムの設置を検討しています。通常時はあらかじめ自分の顔を登録した児童生徒、教職員が通る場合のみ開錠され、それ以外の方が通る場合は開錠されない設備です。注意すべき人物が来たときに、警報が鳴るよう設定することも可能です。 近年の目覚ましい技術革新により、学校施設でも一昔前では想像できなかったような機能・設備の導入が進んでいます。新しい学校では、セキュリティ確保のみならず、児童生徒の学習環境や教職員の働きやすさ向上のため、こうした技術・設備を積極的に取り入れていきます。 交通安全施設に関しては、交通量を見ながら必要性を判断いたします。

2		【整備方針4】安心・安全について② 町民プール近くに学校を建設するので、「学校にプールを作らず、町民プールを使う」という案には賛成です。 でも、現在の町民プールは50mプールで水深も深く、小学校の水泳授業では使えません。宮宿小学校のプールで水深を確認し、町民プールを直す必要があります。（そうしないと、今年、中学校のプールを利用して、小学生が亡くなった他県の事件と同じことが起きてしまいます。）また、道路を横断するのが危ないので、校舎から陸橋でプールにつながるようにするとよいのではないのでしょうか。	町民プールについては、義務教育学校の開校までに改修を行う予定です。今後専門業者と協議し、適切に対応いたします。 校舎からプールまでの移動について、交通安全施設に関しては、交通量を見ながら必要性を判断いたします。
3		【整備方針4】安心・安全について③ 給食室には調理員専用のトイレが必要です。（一般教職員と共用できないので）	法令に基づき、適切に対応いたします。
4	B	【整備方針2】地域開放・多機能化 若者の居場所づくりの課題を解決する、深夜まで使える（できれば 24 時間対応できる）防音の施設を作って頂きたいと希望します。 朝日町の課題は兎にも角にも若者の定住だと感じています。様々な手当が必要だと思いますが、娯楽や集いの場、特に夜間に於いてのそれが不足しています。カラオケがカラオケスナックしかありません。ファミリーレストランもありません。 義務教育学校の設備として体育館・ホールの計画はあると思いますが、これを完全防音にし、深夜まで爆音で騒いでも良いようにし、更に個室もいくつか作り、ライブやクラブ(ディスコ)、カラオケとして利用できるようにしたいです。 酒類の提供ができれば最高です。 清掃・管理を外部委託(若者のアルバイトの場としてもよい)して、授業等で使う際に支障のないようにすればいいのではないのでしょうか？ また、部活動や地域文化活動での活用として、音楽活動やダンスなどはチームご	定住人口の確保も視野に入れた施設のあり方について、様々なご意見ありがとうございます。 公共施設として自治体が管理・運営する以上、できること・できないことがございます。町民の皆さんから親しまれ、愛される施設になるよう、今後施設のあり方、運用方法を検討していきます。

		との練習の場が必要となり、その発表やイベントの場として照明設備なども含めてかなりのことができるようになってい、「朝日町で」楽しく生活が送れると思います。 このような施設が計画されるのであれば、地域スポーツ・文化活動推進員として、ソフト面の企画と利用者の確保は責任を持って行うつもりです。 公共の施設、しかも学校としてはちょっと難しい面もあると思うのですが、上記の通り若者の定住という課題のために、官民併せても今後このような施設の計画はかなり難しいと思うので、ぜひご英断をお願いしたいです。 ご検討ぜひともよろしくお願いします。	
5	C	【全体についての意見】 大変素晴らしい基本構想・基本計画ができ上がり、関係者の皆様には感謝申し上げます。 7/29 の説明会をお聞きし、この朝日町でいかに子供たちを育てるかは、町の未来を左右するまさに大人の責任だと感じました。私は毎日、地域の子供たちと一緒に登校を見守りながら、子供の話を聞く機会があります。学校へ行きたくない、授業が面白くないから、あの「夢見る小学校」のような学校に通いたいなどと話します。子供たちは、もっと楽しく学ぶ世界があることを知っているのでしょう。 朝日町は少子化によりやむなく合併したのではなく、ピンチをチャンスに生かして、この素晴らしい学校のある朝日町に子供を通わせたいと思われるような義務教育学校になってもらいたいのです。そのためにも、ハード面の充実はもとより、ソフト面を実践できる先進校の先生を引き抜いてきていただきたい。そのためには可能な限り町の予算をつぎこむこともいとわないでほしいのです。説明会で心配されていた父兄のように、コンセプトを揺るがすことなく、子供たちに伝える先生方に引き継いでいかななくてはならないからです。	ご意見として承りました。 教職員の人事異動については、山形県教育委員会の責任で行われています。町として、配置についての要望をしていきます。

		この小さな町の教育が、この試みが、予測困難なグローバルな世界に生き抜ける逞しさと先進性を身につけた子供たちを育てたのか、見続けたいと思います。それがひいては町民の誇りとなることを念願します。	
6	D	【朝日町の小中学校の現状等】について 説明会でも意見しましたが、子どもが今後も減り続けるのを当然のことと考えているのが少々気になります。山形県ではどの自治体も実施していないようですが、長野県では 1976 年に日本で最初に始まった山村留学が盛んで、一定の成果が上がっています。 その中で、子育て世代の移住者を増やし、子どもの減少に歯止めをかけることに何とか成功している山里の小さな自治体があります。長野県南佐久郡の南相木村です。村唯一の小学校児童数は令和 6 年現在 55 名で、その半数が移住者の子どもだといいます。人口 900 人台の自治体ながら先般の消滅可能性自治体のリストには入っていません。 教育行政には移住者で都内進学校の元校長(私の恩師)が協力しているようです。(本人に詳細を確認します。)朝日町のことは 2017 年に、私から村長に、地域おこし協力隊で成功した町として紹介してあります。 また、隣の北相木村には山村留学センターが 38 年ほど前からあります。こちらも消滅可能性自治体リスト外です。 わが朝日町も、義務教育学校開設を機に、地域おこし協力隊の時と同様、県の実験を切って山村留学に取り組んでいけたらと思います。朝日町は首都圏在住者が強く求める自然との一体感、地域の人々との温かい交流に満ち溢れています。(と東京生まれ・育ちの私は思います。)そして、強力な発信力を持っています。山村留学は単なる児童・生徒数の増加にとどまらない成果を生みます。閉鎖的になりがちな少人	国立社会保障・人口問題研究所の推計に関しては精度が高く、過去の数値がそれを裏付けています。 例えば、2015 年時点では、2025 年の人口が約 6,000 人となっていました。が、2024 年 7 月末日時点で、すでに 5,862 人となっています。人口減少の波は推計よりも早く訪れています。 決して悲観的になっているわけではありませんが、現実には現実として受け止め、これを前提として施設のあり方を検討する必要があると感じているところです。児童生徒数が減っても使いやすく、町民の皆さんから使っていただける施設にしなければなりません。 一方で、学校自体の魅力を高めることは、定住人口の増加にもつながります。教育移住のきっかけになれるよう、魅力ある学校を目指します。

		数教育の中に多様性をもたらすとても有効な手法です。体験入学用に、災害時の避難用と共用で、簡易宿泊も可能となる部屋やバスルームなども備えたらいいだろうと思います。朝日町ならきっとできます。	
7		【その他 学校給食】についての意見 学校給食については、自校方式なので町独自の特徴を出せ、やり方次第で「食育の町」をPR できます。「私たちの体は食べたものでできている」とは最近よく耳にする言葉ですが、日本の食が近年大変な危機にさらされています。遺伝子組換え、ゲノム編集、重イオンビーム照射米、食用コオロギ、などなど、「世界一安全基準が甘い」とまで言われるようになってしまった日本で、世界的には安全を担保されていないと言われる食品とその関連メーカーが、学校給食を最初のターゲットにしているのが現状です。朝日町はそれらから子どもたちを何としても守らなければなりません。以下、私が所属する団体のサイトです。 ●OK シードプロジェクト https://v3.okseed.jp/ 食の安全に関わる世界と日本の情報が日本語で随時発信されています。 ●民間稲作研究所 https://www.inasaku.org/ 有機農業(主に稲作)を大規模に行う研究の拠点です。有機米の学校給食提供に尽力しています。現会長は山形大学農学部卒業生です。 なお、わが朝日町はリンゴの産地なので、オーガニックビレッジ宣言は少々難しいかもしれませんが、山形県内でも米沢市、鶴岡市、新庄市、川西町、山形市、酒田市、高畠町が宣言しています。	ご意見として承りました。現在「ふるさと給食の日」を定め、地産地消に取り組んでいますが、新しい学校においても、法令に則り、安心安全な給食を提供することを目指します。

8	E	【全体についての意見①】 1 学年 1 クラスと想定しているようですが、クラスを2クラスにして少人数(15 人程度)で編成してほしいです。せっかく今の学校で先生たちから少人数で教えてもらっているのに、継続的にお願いしたい。少し人数が多いだけで先生たちも一人一人をみるのが大変です。	学級編制の標準(1学級における児童生徒数)は、法令により定められています。義務教育学校においても、これに則って学級編制を行います。 ・小学校1～6年生:1学級35人以下 ・中学校:1学級40人以下
9		【全体についての意見②】 先生達の仕事を少しでも減らし、自由に動きまわれるようにしてほしい。そうすることで、生徒一人一人と向き合うことができると思う。	前期・後期課程の教職員が1つの組織として連携・協働することで、児童生徒に対して効果的な教育活動を行うことを目指します。また、組織形態の変化に伴って業務内容を見直し、働き方改革も推進していきます。
10		【全体についての意見③】 特定の地域の人が学校にかかわるのではなく、多くの方がかかわれる機会を作してほしい。	多くの方々からかかわっていただける学校を目指します。
11		【全体についての意見④】 デマンドタクシーで地域の方が気軽に足を運べるようになるといい。	まずは施設自体の魅力を高め、地域の大人の方々にも足を運んでもらえる学校にしたいと考えています。その後、ニーズや要望があればデマンドタクシーも検討します。
12		【全体についての意見⑤】 校則、宿題のことなど、生徒自身で決められるように話し合いの場を設け、考える時間をあげてください。	ご意見として承りました。ソフト面に关わる様々な検討は、専門部会による話し合いを重ねた上で、児童生徒の声も聴きながら検討を進めていく考えです。

